

2023年7月3日
長瀬産業株式会社

**NAGASE カップ 2023 大会特別企画「視野を広げ、深める“多様性”のすすめ」
パラアスリートとトランスジェンダー活動家による大学生向けトークイベントを開催**

長瀬産業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：上島 宏之、以下「長瀬産業」）は、6月19日（月）に、早稲田大学（東京都新宿区）で、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）と共催で、「視野を広げ、深める“多様性”のすすめ パラアスリート×トランスジェンダー活動家」トークイベントを開催しましたのでご報告します。



NAGASE カップは「誰もが参加できるインクルーシブな大会」をコンセプトに掲げる陸上競技大会です。障がいの有無や年齢などの垣根を越えてアスリートたちが競い合う本大会は、今年で第二回目を迎え、本年は9月2日（土）、3日（日）に国立競技場（東京都新宿区）で開催いたします。NAGASE カップを通じてトップアスリートの活躍の場を拓けるとともに、競技場の外でもインクルーシブな社会の実現に向けて貢献していきたいと考えています。

本イベントは、インクルーシブとはどういうことなのかを次世代を担う大学生に伝え、大会の機運醸成にも繋げていきたいという思いから開催いたしました。イベントには、ゲストスピーカーとして第1回 NAGASE カップに出場した義足の短距離ランナー、井谷俊介選手（SMBC 日興証券株式会社所属、競技クラス：T64）、早稲田大学大学院出身でジェンダー活動家の杉山文野さん（日本オリンピック委員会理事）、スポーツに詳しいタレント・芸人のこにわさんにファシリテーターとして参加いただき、「多様性」という言葉をどう捉えるか、スポーツが果たせる役割、よりよい社会に向けて学生に期待することなど多岐に渡り、さまざまな立場の視点から議論が深まりました。

井谷選手は「第1回 NAGASE カップで腕がない選手や障がいのない選手と同じレースで真剣勝負したときに、これまでにない高揚感があった。一緒に何かを体験したことで、障がいや障がい者を身近に感じてもらうことができた。スポーツの力だと思う」と話しました。杉山さんは「多様性の議論は、ともするとマイノリティにあたる当事者がいないところで進んでいってしまうことが課題とを感じる。報道や情報のなかには真実でないものもあるため、学生の皆さん

には、インターネット以外の、生の声や情報にたくさん接してほしい」と語りかけました。

講演会後には、同大学構内のレストランで懇親会が行われ、イベントに参加した約 30 人がパネリストと交流しました。

NAGASE カップは、「日本陸連公認の部」と「パラ公認の部」からなる大会で、国際的な大会に出場経験のあるアスリートなどのほか、日本陸連に登録する中学生以上のアスリートが障がいの有無にかかわらずレースに臨む大会です。競技や大会プログラムの充実を通じて“誰もが参加できるインクルーシブな大会”を目指してまいります。



講演会の様子

■大会概要

大会名：第2回 WPA 公認 NAGASE カップ陸上競技大会

開催日時：2023年9月2日（土）、3日（日）

開催場所：国立競技場（東京都新宿区霞ヶ丘町10-1）

■大会公式メディア

ウェブサイト：<https://www.nagase.co.jp/nagasecup/>

Instagram：https://www.instagram.com/nagasecup_since2022/

■本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 URL：<https://www.nagase.co.jp/>

<報道に関するお問い合わせ>

グローバルコミュニケーション本部 広報室 TEL:03-3665-3640

公式 Instagram



NAGASECUP_SINCE2022